



# ESDコーディネータ資格取得おめでとう!

11月にESDコーディネータ認証資格試験を受け無事、合格する事ができました。

目的としましては、特に静電気対策の管理、教育をする訳ではございません。あくまで営業ツールの一つとして考えております。

約2年前から「セイデンマット」を拡販してきました。しかし、商品説明が仮に流暢にできたとしても、採用実例が少ない事や、森松のブランドは、この業界では全くの無名であり、今一つ「安心」という面に関しては大きな壁にあたっています。

そこで、静電気対策の専門知識を学ぶことにより、同じ立場でこの商品を提案して行きたいと思い、資格を取る事にしました。

実際、静電対策の現場ではどのように使用されているか、また、どんなことを望んでいるか?私にとっては大変、関心があります。今後は、この現場の方々の情報収集をもとにセイデンマットのさらなる拡販を目指し、また、森松の加工設備を生かした提案や従来、培ってきた汎用製品を静電対策向けに機能性商品として新たな開発を目標に、今後の営業活動に活かして行こうと思っております。



安井浩二 (クイックファイブ)

## ESDコーディネータ資格認証制度とは

RCJ ESDコーディネータ資格認証制度とは、在団法人日本電子部品信頼性センター(RCJ)が、IEC61340シリーズ規格を基準として、ESDコーディネータを認証する制度です。

ESDコーディネータは、組織内での開発・設計・製造・購買・管理・教育訓練・現場サービスにいたるESD管理システムを構築し、維持、管理する役割を果たします。このような役割を果たすために、ESDコーディネータは、ESD管理技術全般と品質管理技術の双方についての知識を持ち、ESDに係わる人、物、環境と相互関係を考慮し、組織のESD管理プログラム推進のための管理能力をもつことが期待されます。また、組織内外の監査に対して、豊富な経験と知識にもとづいて明確に対応する役割を持つものです。

当社では今後、資格取得者に対して昇給に優遇される制度を検討していく予定です。

## 2005年を振り返る

社長 森 直樹



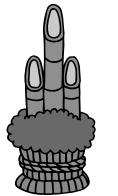
新年あけましておめでとうございます。2004年は本格的に業務に携わり、また社長業との両方において、くたくた勉強不足を思い知らされた一年でした。この一年の反省を踏まえ、2005年度の行動は以下の点を実行したいと考えています。

- とにかくまず行動を!
  - 100%正解なやり方はないのですが、慎重になり過ぎて結果対応が遅くなるという事が多々ありました。判断基準になる経験も少ないので、迷う事が多いですが次々に発生する問題に対し素早く行動を起す事を心がけます。
- コミュニケーションに気をつける
  - 「話し方」に気をつけよう。自分の意見をただだけ判り易く伝えるか。声の大きさから明瞭さ、また自分の意思をどう正確に伝えるか。特に電話での会話は、音声でしか伝えられないので、気を遣います。
- 肩の力を抜くこと
  - 意外と「日々自分自身で力みすぎている」を感じます。無駄な力を入れず、落着いて日々取り組んでいきます。意識してみても精神的にも余裕が出来ます。

そして、来年はより多く社外へ出て行く機会を増やしたいと思っております。自分(会社)のこと、市場、顧客、商品、競合他社といった外に出て学ぶべきこと、これら現状を的確に把握するには、実際に足を運んで見に行くことが不可欠でしょう。また、「波紋」を毎月読んで下さる皆様のご声にお応えも勉強させて頂き、お邪魔する機会があるかと存じます。その時は未熟者ですが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。それでは皆様、2005年もお世話になります。宜しくお願いいたします。

naoki@morimatsu.net

の予定



31日(月)	29日(土)	25日(火)	24日(月)	22日(土)	19日(水)	17日(月)	15日(土)	10日(月)	8日(土)	7日(金)	6日(木)	3日(日)	1日(土)	
法規会	第五土曜休み	生産会議 18時~	編集会議 17時30分~	営業会議 15時10分~	経営会議 7時30分~	祝建城さん誕生日	誕生日会	成人の日	第二土曜休み	津田巨さん誕生日	信念会 17時30分~19時30分	文具組合賀詞交歓会	アキレス賀詞交歓会	仕事始め
												吉岡孝記さん誕生日	元旦	



## 第23回 家族忘年会

今回の忘年会内容では、社長からのクリスマスプレゼントとして、プロマジシャン「PIYO」にご来場いただきました。このような今までにない素晴らしい催しをご提供いただき、皆が和やかに会話を弾ませるモーリンググループ団樂の一時を作りました。

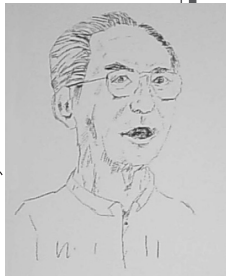
又、中国研修生ならびに、李さんによる本場の餃子など、話題たくさんの忘年会になりました。

皆様の陰ながらのご支援及び協力を頂き無事終了する事ができました。有難う御座いました。

家族忘年会幹事一同



※今年で23回目を迎える家族忘年会。写真は、開催当初の写真で、中央の二人は、森 直樹社長、森 伸子さんです。



12/11 栄マルベリーホテルにて



## 編集後記

新年を明日に控えた大晦日には、昔から年越しにそばを食べる習慣がありますが、意外となぜそばを食べるのか、詳しい理由を知る人は少ないのではないのでしょうか。そもそも年越しそばの風習が広まったのは江戸時代中頃で、その説はいろいろあるそうです。「人生はそばのように細く長く生きる」という意味で食べる」という説はよく聞きますが、関西ではそばではなく、運を呼ぶ「うどん(うどん)」を食べる「太く長く」を願うところもあるそうです。また、そばが切れやすいことから、1年の苦労を切り捨てようとして食べるという説や、そばは雨風で、たれでも日に当たるとすぐに立ち直る植物なのでそれにあやかっつてという説もあるそうです。

梅田文康

(GMエキスパート)



第21回 改善発表会 11/20(土) 本社5F

優勝 レインボーⅢ

レインボーサークル 今回のテーマは7SKで鮮度アップと言うことで5S(整理、整頓、清掃、躰)に2S(先入れ先出し)とK(継続)を加え机周りサンプル帳棚の5Sと倉庫に有る加藤さん分の加工品の先入れ先出しをもっと簡単に出来る改善をしました。加藤さんが考えたマグネットに矢印を付ける方法がシンプルですが非常に面白いアイデアでこれが受けて今回優勝することが出来ました。

次回も優勝できるようがんばります。

吉岡孝記 (レインボーⅢ)

- 優勝 レインボーⅢ 2位 クイックファイブ 3位 GMIキスパート 4位 ニーズ



第6回 ボーリング大会

去る11月20日(土)に第6回ボーリング大会が行われ、激しい賞金争奪戦が繰り広げられました。順位は2ゲームのトータルのスコアで決定しますが、順調にスコアを伸ばす人とそうでない人、またハンディもある為、結果は最後まで予想が付きませんでした。



ゲーム終了後は、木曽路で食事をしました。食事の途中で、ボーリング大会の結果発表もあり、それぞれに盛り上がり楽しめたのではないのでしょうか。

優勝者コメント



前回のボーリング大会以来、まったくやっていなく、第1投目の時はどちらの足から出たら良いか分からず、足がもつれてしまいました。また1フレーム目も、2フレームも前半は全然ストライクが出ず我慢のボーリングでした。そのお陰か何とか優勝する事が出来ました。皆さんどうもお疲れ様でした。

伊藤雅典 (ニーズ)

『謹賀新年!!!』

森 信之



慌ただしい年末も過ぎ、地球温暖化を肌で感じさせられる、暖かな冬を過ごしています。2004年を漢字で表すと「災」だそうです。森松グループ内でもいろいろな変化がありました。これを「災」と感ずるか? 転換点、チャンス、と捉えるか、各人それぞれです。まさに「人生イロイロ」だと思います。わたしの過去にもたくさん危機・アンラッキーな事件が毎年起きていました、しかし楽観主義であり思いつめない、深く考えない性格が、いい方向へ解決して今まで生きてきたようです。今から38年前の1967年(昭和42年1月4日)享年50歳で先代社長が急逝し、私が20歳で2代目社長就任した時も、また大番頭さんだった方が退社した時も、オイルショックも、大きな貸し倒れにあった時もあまり深刻に悩まなかった気がします。2005年もビッグピンチが起こりそうなる予感があります、購買資材関連で発生するか? 得意先関連問題で発生するか? はたまた天災か? 自分自身の健康か? ...しかし長年苦業とともに経営してきた幹部も成長したし、3代目社長も育つてきています。現在では従来より安心して押し寄せる大難に立ち向かう事が出来ます。一番危険な事は、私がやらかす過剰投資を進めず、みなさんよろしくバックアップお願いします。「ピンチはチャンスなり」「災い転じて福となす」。

『マジシャン P.I.Y.O』

光田昭男 (クイックファイブ)



家族忘年会にて、初めてテーブルマジックを体験した。感動! テレビ番組のマジックを見ても不思議と思っていたが、目の前でカードマジックを体験し、なぜだ。どおして。わからない。トリックがあるのに解らない。とても悔しい気持ちになる。会場のテーブルには約10名が座り、マジシャンの手元までの距離は約1mだが、全員が解らず歓声上がる。1枚のカードに「光田」とマジックでサインをする。他のカードをP.I.Y.Oが紐で縛り、縛られたカードの中央にサインしたカードを確認しながら入れ込む。P.I.Y.Oが目の前でカードを揺さぶる。中央の入れたはずのカードがなぜか一番上に移動しているのだ。なぜだ! もう一度とお願いする。P.I.Y.Oは再度同じ動作でプレイしてくれたが、ぜんぜん解らない。マジシャンP.I.Y.Oは、実はサラリーマン、トップセールスマンなのだ。アメリカへも修行に出向き、マジックに磨きをかける努力家で、私とは同じ世代と思えず、眼光鋭くイケ面で、センスが良くスケベのようだ。身長178cm、体重68kg、指の関節は自由自在で、女性も自由自在と思える。P.I.Y.Oが教えてくれた。手品は「手」と「口x3」巧みな会話が必要と。楽しい時間を有難うございました。私も、「手」を変え、「品」を変え、営業活動に努力しよう。

『韓流ブーム』

伊藤雅典 (ニーズ)



韓流ブームと言えば、ヨン様(ペ・ヨンジュン)ですが、韓国男優の四天王を皆さんご存知でしょうか。イ・ビョンホン、ウオンビン、チャン・ドンゴンそしてペ・ヨンジュンです。イ・ビョンホンは、美しい日々(NHKにて放映中)、ウオンビン、チャンドンゴンはブラザーフット(ビデオレンタル中)にてご覧になることが出来ます。韓流ブームと言えば、男優ばかり騒がれていますが、男性の私としては、やはり、冬のソナタのユジン役のチェ・ジウが一番ですね。韓国の松嶋菜々子と言ったところでしょうか。173cmの長身と清楚なルックス。彼女主演の天国の階段、というドラマが放映されていますが、はつきり言っています。しかし、冬のソナタも、天国の階段も、言える事ことは話の展開があまりにも白々しいというところ。というのは、主役が記憶を失ったり、蘇ったりするため2度も事故にあったり、執拗以上に苛められたり(赤いシリーズドラマのように)するところ。でもそれが見出すとはまるどころです。冬ソナブームでヨンの来日で怪我人が出たり、ロケ地へ日本人が押寄せたりで、今女性の間では、やや加熱気味ではないかと思えます。以前は韓国と言えば、一番近いが遠い国と言われていました。そんな日本人の韓国への偏見を取り除くには良い機会だと言えます。日韓の歴史を考えればそんな簡単なことではないかも知れませんが、私自身、今回のブームによつて韓国をどれだけ知ったというわけではないですが、チェ・ジウによつて少なからず偏見は拭い去られた感じ。す。